

INNOVATION CURATOR JUKU 2018-2019

イノベーション・キュレーター塾 第4期塾生募集のお知らせ

SOCIAL
INNOVATION
LABORATORY
KYOTO

持続可能な社会の実現を目指す、 “四方よし”ビジネスの支援者になりませんか？

※四方よし＝三方よし[売り手よし、買い手よし、世間よし]+未来よし

塾生募集のお知らせ

- 対 象**
- 企業・NPO等の支援業務に携わっている方、金融業界・ファンドなどで融資・コンサル業務に携わっている方、行政職員、士業の方など、支援業務を行っている方
 - 事業者、または組織内において、新規事業や社内ベンチャーの立ち上げに関わっている方や、経営戦略を立案・実践している方、又は今後実践する方
 - 前期全6回通して参加できる方
 - 後期(来年度4月以降全4回)に参加する意思のある方(後期では実践を通じての学びを行います)

授業日程

- 前期6回：2018.09.15 / 10.27 / 11.17 / 12.15 / 2019.01.26 / 02.23 ※いずれも土曜日 13～17時
- 後期4回：2019年4～7月開催予定。日程未定 ※いずれも土曜日 13～17時

会 場

- 学び場とびら <https://www.facebook.com/tobirakyo/> ※ほか、京都市内の会場にて開催
- 京都市下京区室町通綾小路上る鶏鈴町480番地オフィスワン四条烏丸13階
京都市営地下鉄「四条駅」・阪急京都線「烏丸駅」より徒歩1分

募集要項

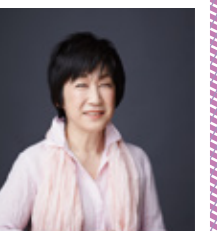
- 定 員：15名 受講料：前期12万円(後期6万円)(税別)
- 募集期間：2018年6月1日(金)～7月31日(火)
- 申し込み方法：申込書を当研究所HPからダウンロードいただき、①名前 ②年齢 ③所属 ④連絡先 ⑤今携わっている業務 ⑥この塾を知ったきっかけ、を明記のうえ、志望動機(400文字程度)と「自分が実現したい未来と、解決したい課題について」(A4用紙1枚程度)を添付して、silk@astem.or.jpまでお送りください。書類選考にて可否を判断し、8月上旬にご連絡いたします。



塾 長

高津 玉枝 | TAMAE TAKATSU 株式会社福市 代表取締役

大学卒業後、富士ゼロックスに入社。その後雑貨商社に転職。1991年に売り場をプロデュースするマーケティング会社を設立。1990年代後半にフェアトレードの概念に出会い、2006年に「持続可能な世の中に向けて行動する人を増やすこと」をミッションに、株式会社福市を設立。世界中からフェアトレード商品を集めたセレクトショップ『Love&sense』を、百貨店などの商業施設でイベント展開。2012年に阪急百貨店うめだ本店に出店。新しいライフスタイルを発信中。東日本大震災後に、手仕事で支援するプロジェクト『EAST LOOP』を立ち上げる。地元の自立のために事業を東北に移管。経産省・復興庁から事業を受託。2015年よりイノベーション・キュレーター塾の塾長を務める。



第3期塾生の声

山本 麻希 | MAKI YAMAMOTO
近畿経済産業局

講師や他の塾生との対話を深めながら、これまでの自身を振り返る中で得られた気づきにより、物事を捉える視点が広がりました。単に知識を学ぶのみならず、塾生全員が活動の中で深めた考えを行動に移しており、そこから得た学びや気づきが財産となっています。



山路 浩之 | HIROYUKI YAMAJI
京セラ株式会社 中央研究所 メディカルデバイス開発部
メディカルデバイス開発1課

技術を通じて社会に貢献したいという想いから、本塾に参加しましたが、塾長より一喝されました。「社会課題を解決する方法は一つではない。何万通りもある中から、最適なものを選ぶこと」技術に囚われていた自分が開眼した瞬間でした。本塾に参加して、物事を俯瞰して考えるようになりました。物事は一面ではなく、あらゆる立場の視点から捉えることが大切です。技術者よがりの一辺倒な技術だけでは、イノベーションは生まれません。これからは、本塾で学んだことを生かして、社会課題にアプローチしていきます。



京都市ソーシャルイノベーション研究所
SILK | SOCIAL INNOVATION LABORATORY KYOTO

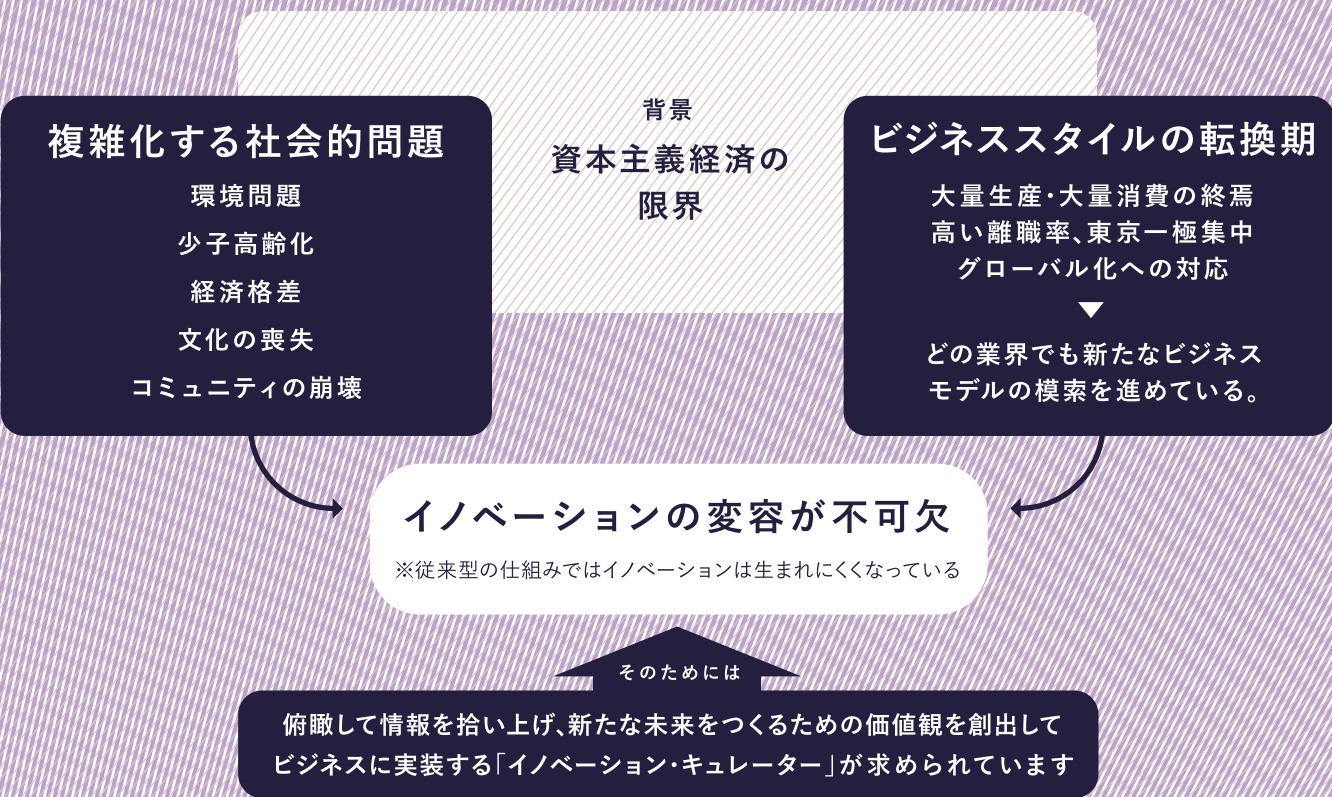
公益財団法人 京都高度技術研究所(ASTEM)内
住所：〒600-8813 京都市下京区中堂寺南町134番地
TEL:075-366-5527 FAX:075-366-5529 MAIL:silk@astem.or.jp
www.social-innovation.kyoto.jp



イノベーション・キュレーター塾

【イノベーション・キュレーター】とは、社会的課題を解決する・課題を生まない社会を目指す視座を持ち、従来のビジネスや組織を、目指す未来へ向けてイノベティブに導く人の事です。伴走者、事業者、社内イノベーターなど、様々な立場の塾生が、この塾で学んでいます。今年も、フェアトレード事業や東北支援プロジェクトで流通の新しい形を開拓する高津玉枝氏を塾長として、組織内イノベーターや、ビジネスの支援者を育成する塾を開講します。

なぜイノベーション・キュレーターが必要なのか？



イノベーション・キュレーターを育成する 4つの体験型プログラム

- I. ソーシャルイノベーターに触れる**
社会的課題をビジネスの手法で解決している・社会的課題を生まない社会づくりを実践しているゲストスピーカーと塾長のセッションを通じて、どのような目線で社会的課題を見つめ、解決策を導いているかを掴みます。
- II. イノベーションにつながる視座を学ぶ**
社会を俯瞰し、社会的課題の構成要素の関係性を理解し、課題を「因数分解」するスキルを学びます。
- III. 社会的課題とビジネスがつながる視点を養う**
「因数分解」により分析した社会的課題とビジネスを結び付け、持続可能なビジネスモデルを創りだす視点を養います。
- IV (後期). ソーシャルチェンジに挑戦する**
前期で学習したスキルを活用して、社会を変えるビジネスのあり方を検討する取り組みに挑戦し、実践的な力を身につけます。

その他サポート

- 塾生の方にはマイプロジェクト(仕事や人生で自分が当事者性をもって実現したいプロジェクト)を作成いただき、塾長、塾生同士、ゲストスピーカーと、多様な視点からブラッシュアップしていきます。
- facebookにて、コミュニケーションと、学びのサポートを行います。
- 京都市ソーシャルイノベーション研究所のセミクロズドイベントなどへのご案内を行い、学びを深めながらネットワークを広げていただくサポートを行います。

前期プログラム(全6回)

前期では、ソーシャルチェンジの仕掛人であるゲストスピーカーの方々と塾長のセッションによる講義と並行して、マイプロジェクトの作成・ブラッシュアップを塾生同士のグループワークにて行うことで、学びの深度を深めます。

俯瞰力×多様性× 哲学(生きる有り様)

大室 悦賀 | NOBUYOSHI OHMURO
京都市ソーシャルイノベーション研究所 所長

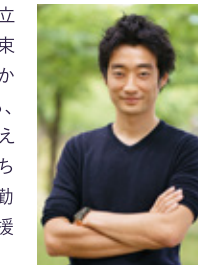


社会的課題をビジネスの手法で解決するソーシャル・ビジネスをベースにNPOなどのサードセクター、企業セクター、行政セクターの3つのセクターを研究対象として、全国各地を飛び回り、アドバイスや講演を行っている。
著書:『ソーシャル・イノベーション』『ソーシャル・ビジネス:地域の課題をビジネスで解決する』『ケースに学ぶソーシャル・マネジメント』『ソーシャル・エンタープライズ』『NPOと事業』『サステイナブル・カンパニー入門』など。

11.17

子どもの貧困× つながり×高校連携

今井 紀明 | NORIAKI IMAI
認定NPO法人D×P(ディーピー) 理事長



1985年札幌生まれ。高校時代に医療支援NGOを設立し、イラクへ渡航。その際、武装勢力に人質として拘束され、帰国後は「自己責任」の言葉のもと、日本社会から大きなパッシングを受ける。対人恐怖症になるも、友人らに支えられ復帰。その後、通信制高校生が抱える課題に出会い、親や先生から否定された生徒たちの経験とパッシングされた経験が重なる。専門商社勤務を経て、2012年に通信・定時制高校の生徒を支援するNPO法人D×Pを設立。

01.26

まちづくり×京町家の流通× 留学生の住まいと職

吉田 光一 | KOHICHI YOSHIDA
株式会社フラットエージェンシー 取締役会長



1950年横浜生まれ、1974年京都に移住、創業。21歳で海外へ旅立ち、約30カ国放浪。ロンドン滞在中に地元不動産屋「Flat Agency」にお世話になる。帰国後、創業。現在は「まちづくり産業」としての役割を果たすべく、理想の学生寮を追求した「シェアフラット」、「定期借家制度」を活用した空き家流通促進、京町家保全・再生事業、留学生・高齢者の居住支援取組など、地域の課題をいち早く見つけ事業化している。「これからの1000年を紡ぐ企業認定」第2回認定企業

後期プログラム(全4回)

全4回の実践と学びを通じ、事業者が実現したい未来への道を伴走しながらサポートする力、自分の組織をイノベティブに変革する力を養います。講義は塾長やゲストスピーカーによるセッションとグループワークで実施します。後期のプログラムとマイプロジェクトのブラッシュアップを通じて、イノベーション・キュレーターが社会で果たすべき役割を見つめ直し、実践に必要な力を養います。

後期のキーワード

俯瞰/本質/デザイン思考/アート思考/価値の創出/意味づけを変える/バックキャスト/つながり/エコシステム

10.27

感謝×思いやり× あざとさ

河口 真理子 | MARIKO KAWAGUCHI
株式会社大和総研 調査本部 主席研究員/グローバル・コンパクト・ネットワーク・ジャパン 理事
日本サステナブル投資フォーラム 共同代表理事



気候変動問題、水資源や鉱物資源不足、森林減少砂漠化、生物多様性の喪失、グローバルな貧富の差の拡大の問題など、私たち人類が直面する課題をどう乗り越えて、いかに持続可能な社会に作り替えていくのか。そのために企業の立場(CSR)、投資家の立場(ESG投資)、生活者の立場(エンカル消費)からすべきことは何か、をテーマに研究、提言、発言を行っている。著書:『ソーシャルファイナンスの教科書ー「社会」のために「あなたのお金」が働くということ』

12.15

演劇×教育×コミュニケーション

平田 オリザ | ORIZA HIRATA
劇作家・演出家・青年団 主宰
大阪大学COデザインセンター特任教授・東京藝術大学COI研究推進機構特任教授



1962年、東京生まれ。国際基督教大学卒業。劇作家・演出家・青年団主宰。こまばアゴラ劇場芸術監督、城崎国際アートセンター芸術監督。四国学院大学客員教授・学長特別補佐。国語教科書に掲載されている平田氏のワークショップ方法論により、年間30万人の子どもたちが、教室で演劇を創る体験をしている。戯曲の代表作に『東京ノート』(岸田國士戯曲賞受賞)、著書に『わかりあえないことからーコミュニケーション能力とは何か』、『下り坂をそろそろと下る』ほか多数。

02.23

まとめと振り返り 後期に向けての課題設定等

高津 玉枝 | TAMAE TAKATSU
株式会社福市 代表取締役



前期の最終回では、高津塾長の『Love&sense』、東北復興プロジェクト『EAST LOOP』の事例と、それを通じたグループワークを行います。また、前期のゲストスピーカーのお話の振り返りと全体のまとめ、後期に向けての課題設定などを行います。